

# 資料 1

令和 8 年度 第 1 回福知山市上下水道事業経営審議会報告

## 令和 8 年度水道事業計画について

令和 8 年 4 月 2 3 日  
福知山市上下水道部水道課

- 1 水道事業の概要 . . . P.2
- 2 福知山市の水道給水区域と主な施設 . . . P.3
- 3 令和8年度 建設改良費の概要 . . . P.4
- 4 令和8年度 主要な建設改良事業 . . . P.5~6
- 5 広域連携の検討について . . . P.7

## ◆福知山市水道事業ビジョン

《“幸せを生きる”ふるさと福知山を未来へつなぐ水道》  
(令和元年12月策定)

本市水道事業が直面している課題解決に向け、国や府の動向を踏まえ策定した令和元年度～令和10年度までの計画

### ◎目指すべき方向性

#### 『安全』 いつでもきれいで安全な水道

・・・水源から給水栓に至る水質管理体制を構築し、安全な水の供給に努めます。

#### 『強靱』 強靱で安定した水道

・・・施設更新計画を策定し、施設・管路の更新・耐震化を進め、強靱な水道を構築します。

#### 『持続』 いつまでも健全に持続できる水道

・・・施設・管路の適性な維持管理・計画的な更新を実施し、健全な水道事業を持続させます。

#### アセットマネジメント

中長期の施設更新需要の見通しを平準化した費用を年間に必要とする投資費用の目安とし、老朽資産の蓄積抑制と投資額の偏りによる経営圧迫を避け、健全経営を目指します。

施設更新投資費用 = 8億5千万円/年

## ◆業務量等 (令和6年度末)

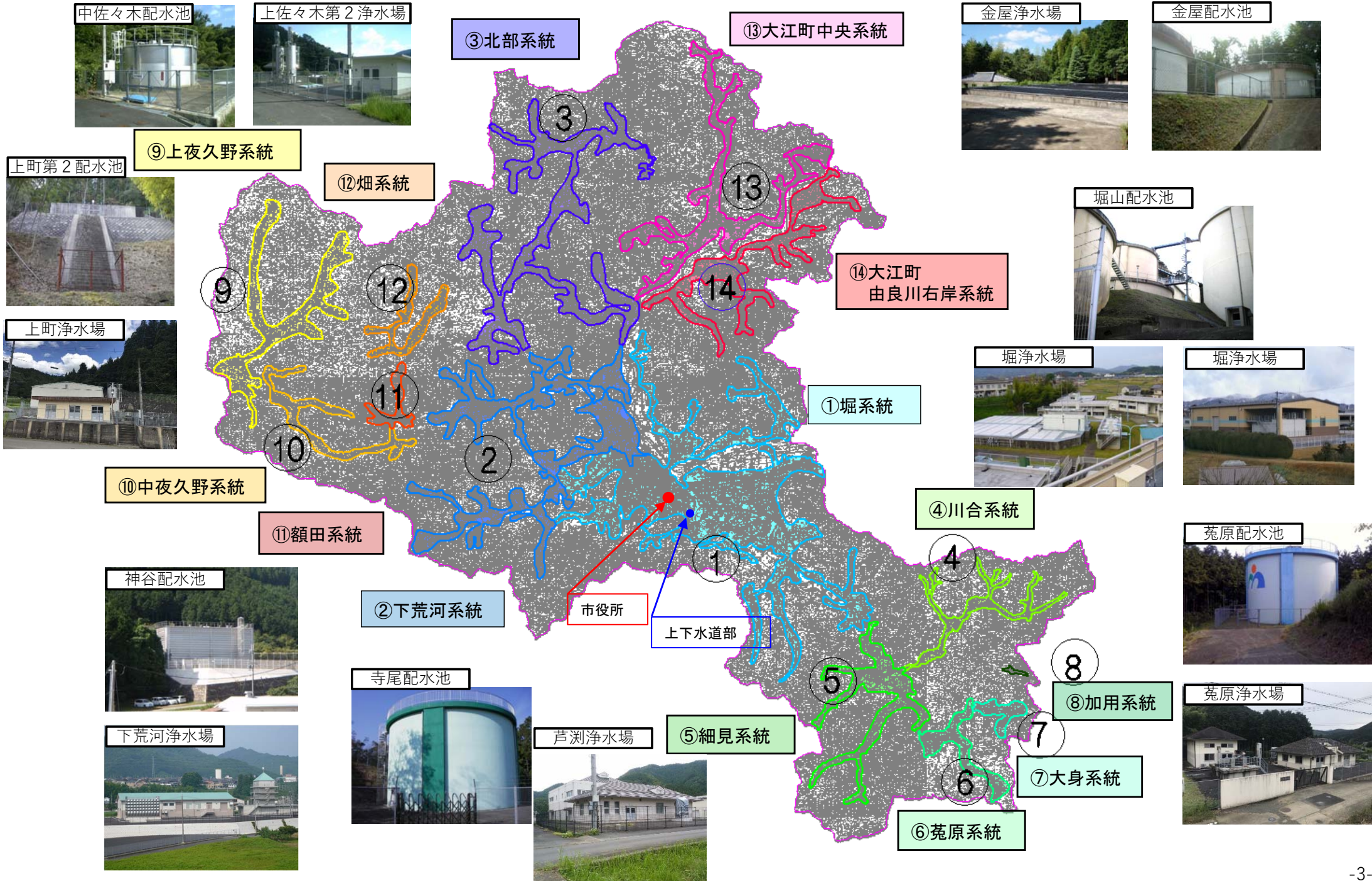
- ・給水区域内人口 : 74,002人
- ・給水人口 : 73,748人
- ・普及率 : 99.66%
- ・給水戸数 : 36,812戸 (家事用33,597戸 業務用3,215戸)
- ・年間総配水量 : 10,713,206<sup>m</sup><sup>3</sup>
- ・年間総給水量 : 8,896,979<sup>m</sup><sup>3</sup>
- ・有収率 : 83.05%
- ・1日最大配水量 : 33,184<sup>m</sup><sup>3</sup>



## ◆施設概要 (令和6年度末)

- ・取水場 : 34施設 総計画取水可能量 65,094<sup>m</sup><sup>3</sup>/日
- ・浄水場 : 25施設 総計画浄水量 50,176<sup>m</sup><sup>3</sup>/日
- ・配水池 : 106施設 242池 総有効容量 36,001<sup>m</sup><sup>3</sup>
- ・加圧ポンプ所 : 84か所
- ・水質測定所 : 37か所
- ・管路 : 1,089,623m
  - 導水管 : 20,726m (取水施設から浄水場にする管路)
  - 送水管 : 58,633m (浄水場から配水池にする管路)
  - 配水管 : 1,010,264m (配水池からお客様に配水する管路)

## 2 福知山市の水道給水区域と主な施設



#### ◆重点目標

##### (1) 「安心・安全で快適な暮らしを届ける」ために

①水質向上及び漏水防止を図るため、配水支管布設替工事に併せて、鉛製給水管の取替えを継続して進めます。

##### (2) 「強靱で持続可能な上水道を構築する」ために

①基幹管路である堀山第2配水系統配水管布設替事業など優先度の高い管路から耐震管への更新を進めます。

②老朽化した機械電気設備の更新に併せて、施設の機能強化を進めます。

#### ◆建設改良工事関係予算の内訳

工 種		事業量		予算額 (税抜・千円)	水道事業ビジョンの目標設定及び実現方策	
管 路	施設統廃合 送水施設新設工事	700	m	46,980	持続	施設統廃合によるダウンサイジング
	重要施設配水管布設替工事	30	m	78,230	強靱	基幹管路の更新と耐震化（重要施設供給ルート耐震化）
	配水支管布設替工事	1,558	m	202,230	強靱 安全 持続	経年管の更新と耐震化による漏水対策 鉛製給水管の取替えによる水質向上
	包括委託（予防保全業務で老朽管更新）	1,060	m	187,670		
	小 計	3,348	m	515,110		
施 設	遠隔監視通信装置光化更新工事	1	件	54,110	強靱	施設監視装置の通信装置の強化
	機械電気設備更新工事	26	件	222,200	強靱 持続	経年施設及び設備の計画的な更新 遠隔操作化による運転効率性向上
	包括委託（予防保全業務で老朽設備更新）	7	件	29,300		
	小 計	34	件	305,610		
合 計				820,720		

## ◆重要施設配水管 堀山第2配水系統配水管布設替事業

強靱

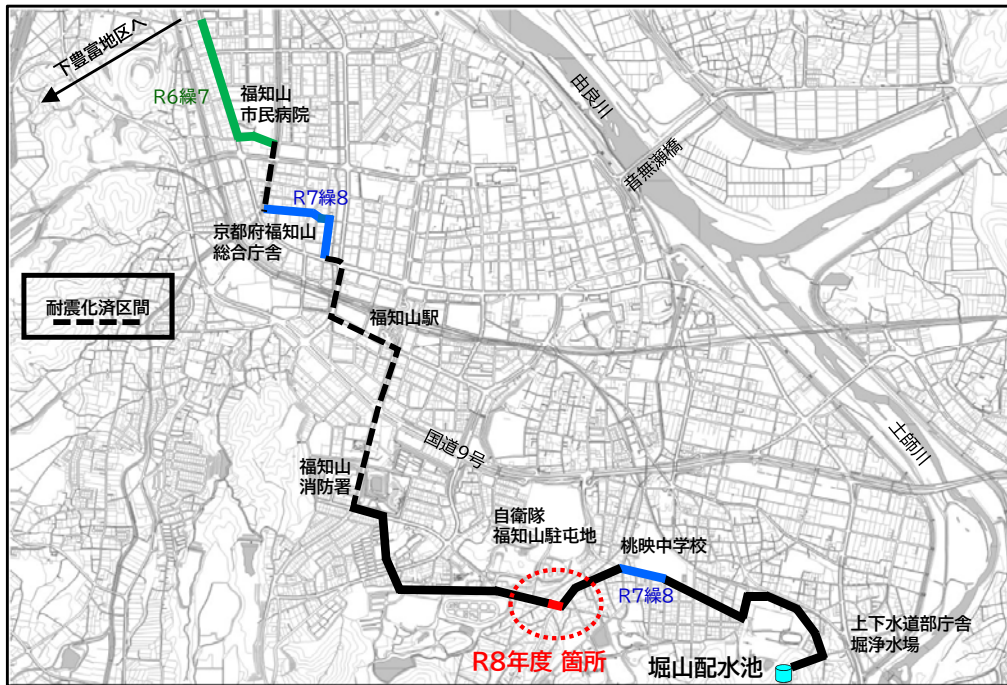
堀山第2配水系統は、堀山配水池から福知山駅周辺を南北に縦断し、下豊富地区まで、市内全体の約2割の給水戸数をカバーしており、その中には、指定避難所や病院、官公署などの重要施設が含まれる配水系統です。

その基幹管路(配水本管)は、昭和44～46年に布設され55年以上経過した老朽管であることから、国の補助事業を活用し、令和7年度から令和11年度までの5か年計画で耐震管への更新を進めています。

※国の補正予算を活用しておりR6繰7予算(3月補正)により前倒しで事業着手しています。

- 総事業費：1,246,113千円(税込) (補助率 1/3)
- 総事業量：φ300mm～φ500mm L=3,823m

### ◆事業計画図



### ◆事業計画

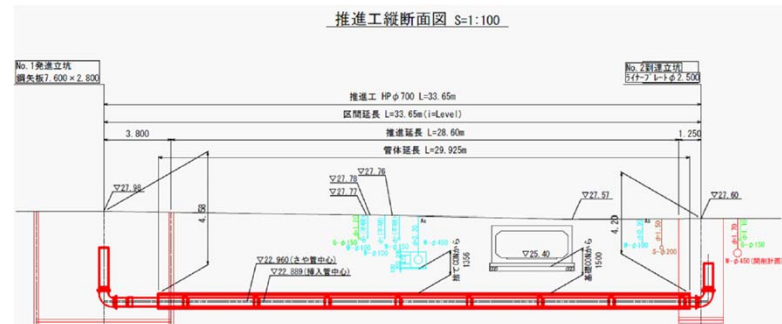
(税込)

事業年度	R7	R8	R9	R10	R11	計
事業量(m)	675	622	1,317	1,079	130	3,823
事業費(千円)	153,450	246,323	382,140	285,670	178,530	1,246,113

※繰越事業は完成年度に計上しています。

### ◆令和8年度工事の概要

事業量 : 配水管(推進工) φ500mm(φ700mm) L=30m  
 事業費 : 78,230千円(税抜)



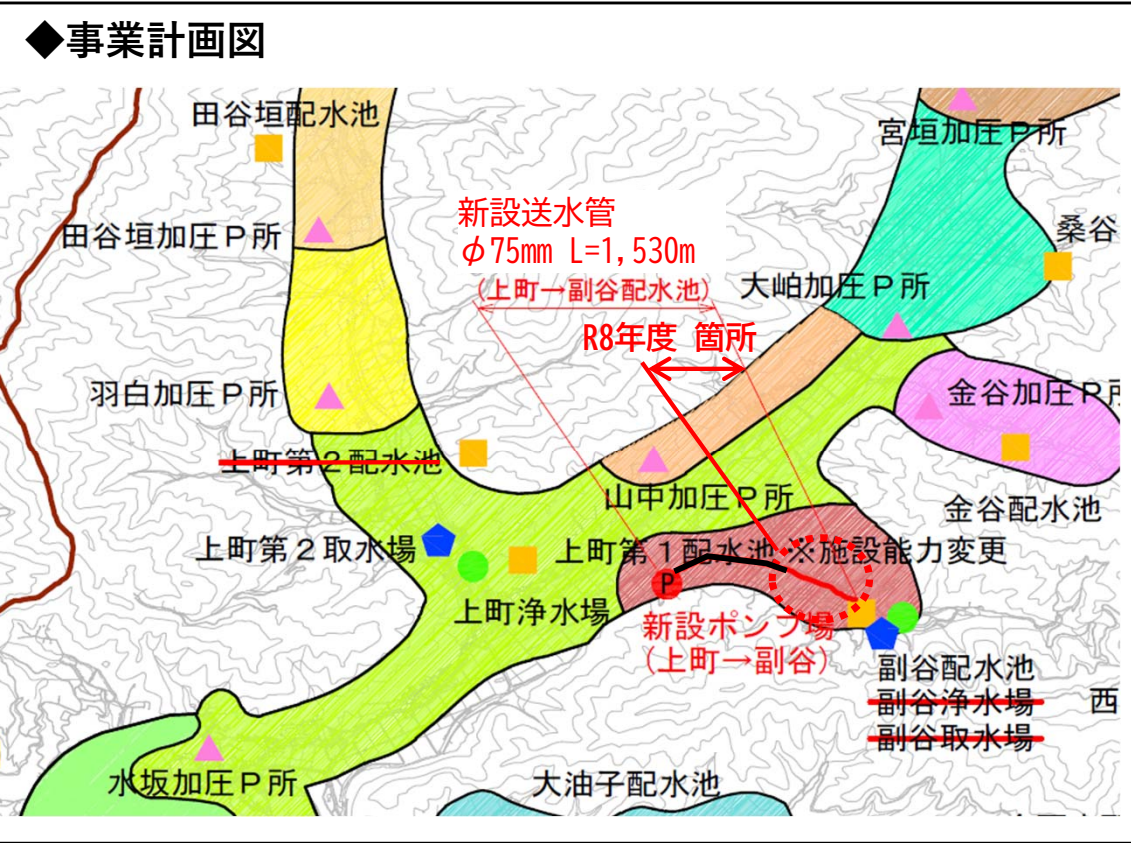
持続

◆施設統廃合  
副谷地区 送水施設新設事業

将来想定される水需要の低下による施設運転効率の低下に備え、効率的な施設運転維持を行っていくため、施設の統廃合によるダウンサイジングを考慮した更新を進めてまいります。

令和7年度からは、夜久野町の副谷浄水場及び取水施設を廃止し、上町浄水場の給水区域へ統合するための送水施設の新設整備を進めています。

- 総事業費：232,500千円（税込）
- 総事業量：加圧ポンプ場 N=1式（ポンプ能力 Q=0.042m<sup>3</sup>/min, 2台）  
送水管 φ75mm L=1,530m



◆事業計画 (税込)

事業年度	R7	R8	R9	計
事業費(施設) (千円)	69,300	0	33,000	102,300
事業費(管路) (千円)	0	51,678	78,522	130,200
計	69,300	51,678	111,522	232,500

◆令和8年度工事の概要

事業量：送水管布設 φ75mm L=700m  
事業費：46,980千円（税抜）



京都府北部圏域の水道事業者が、深刻化する人材不足、施設の老朽化、料金収入の減少などの共通課題に対応し、水道事業の持続可能性を高める具体的方策について、令和8年度に検討組織を設置し、共同で調査・検討を行います。

### ▶ 参加事業者

福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町、  
京都府（工業用水道事業）

### ▶ 設置組織

「北部圏域水道事業等経営基盤強化あり方検討会」

### ▶ 検討内容

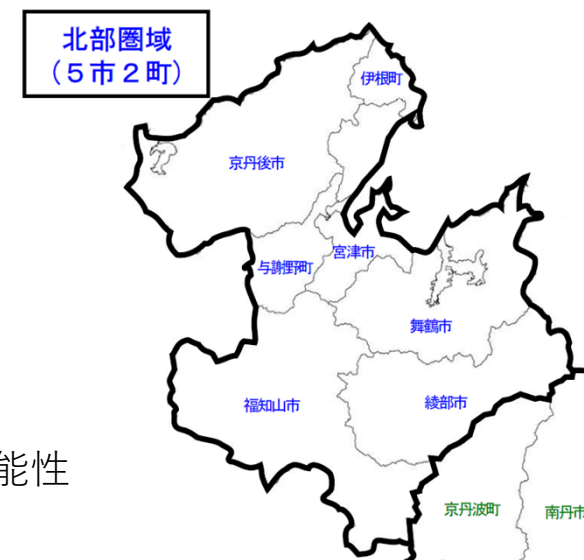
複数事業者が包括的官民連携を同一企業へ発注する**広域型官民連携**の導入可能性

### ▶ 検討手法

令和8年4月 検討会設置

⇒ 調査業務委託の共同発注（※福知山市を除く）

- ・官民連携対応範囲、手法などについて検討
- ・マーケットサウンディング実施



出典：京都水道グランドデザイン  
P.6 図1.3.1